

特集
米原の未来を変える若者たち
マイバラチェンジャー

信じた道を突き進む
地元を愛するクリエイター

ウェブデザイナー

さわ たり けん た ろう

澤渡 健太郎 (31)

平成6年5月生まれ。長浜市出身。米原市在住。

米原市にあるデザイン会社の代表取締役であり、琵琶湖の形をモチーフにしたキャラクター「びわけん」の生みの親でもある。主にウェブサイト制作などの仕事を受けながら、滋賀県の認知度を高めるため県内外のイベントでびわけんとともに滋賀県のPR活動を行っている。

伊吹山テレビ
11月21日号でも
ご紹介しています！▶



人生を変えた
フランスでの留学経験

ウェブデザイナーを目指したきっかけは、東京の大学在籍時にフランスへ短期留学をし、その時に触れたアートやデザインに衝撃を受けたことです。

フランスでは日常にアートやデザインが溶け込んでいて、それがすごくすてきなと感じ、「自分もアートやデザインに関わる仕事がしたい」と思うようになりました。それまでデザインに携わったことは全くなかったのですが、フランスでの経験を経てデザインの道に進もうと大決心し、帰国後に大学を中退、その約半年後に京都の美術大学を受験して、広告デザインやグラフィックを学ぶ学科に入学しました。

プラスアルファの価値を提供し
喜んでもらいたい

京都の美術大学短期大学部で2年間学んだあとデザイン会社に就職し、ウェブサイト制作などの仕事をしていました。その約1年後に独立し、現在は米原駅前に事務所を構えています。

デザインの仕事では、「ここに頼んで良かった」と喜んでもらえるよう、お客様が求めていることプラスアルファの価値を提供することを心がけています。

琵琶湖に耳や目をつけて…
びわけん誕生！

東京の大学にいた頃に、自分が滋賀県出身であることを話すと、「琵琶湖は知っているけど滋賀県は知らない」「滋賀県ってどこ？」などと言われ、滋賀県の認知度が低いことを痛感していました。

そうした経験があり、いつかデザインの仕事を生かして滋賀の認知度を高めたいと思っていました。自分の会社を設立し、具体的に何ができるかを考えていたのですが、ある日ふと、「琵琶湖の形に、耳や目、鼻を付けたら…めっちゃかわいいやんー」と思いつきました。

こうして生まれたびわけんと一緒に、全国各地のイベントで滋賀県をPRしたり、滋賀のホッケー盛り上げ隊として米原市内の高校生たちと一緒に活動したりと、滋賀県をもっと知っていただくために日々頑張っています。

自然豊かな環境の中で
仕事ができる毎日が幸せ

京都の美術大学に通い始めた時から、通学に便利な米原市に住み始めました。それから今までずっと米原で暮らしているのですが、山や湖に囲まれた、自然豊かな米原での暮らしはとても居心地がいいと思っています。



フランス留学時代



滋賀のホッケー盛り上げ隊

恐れずに、好きなことや
得意なことを磨き続けて

私は、みんなそれぞれに得意なことや苦手なことがあって、得意なことはその力を発揮して、苦手なことは補いあって社会が成り立っていると思っています。だから、得意なことや好きなことがあったら、そのことに向かっ恐れずに突き進んでほしいです。私がそうであったように、自分の好きなことを磨き続けていけば、きっと誰かの役に立てると信じています。